

謹啓

春暖の候、御一統様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、今回善光寺季刊誌「成寿」第四十一号をお届けいたします。

この号は特に晋山結制並びに大圓武志大和尚七回忌のご報告と、横浜善光寺
留学僧育英会辞令交付式を特集致しました。

ご高覧頂ければ幸いです。

皆々様のご健勝をお祈り申し上げますと共に今後とも尚一層の御法愛、
御教導賜りますよう何卒宜しくお願い申し上げます。

謹白

平成二十三年三月吉日

横浜善光寺 住職 黒田博志 合掌

カラ	―	■晋山結制・大圓武志大和尚七回忌法要	1
特	集	●晋山結制・大圓武志大和尚七回忌法要	25
		ご挨拶 祝辞・祝電	
		インタビュー	36
		■晋山式を終えて博志住職に聞く	
法	話	●住職法話「お不動さまに導かれ」	40
		黒田 博志	
読	物	●「供養の心」について	50
		佐々木宏幹	
連	載	●『普勸坐禅儀』に学ぶ その五	67
		安藤 嘉則	
法	話	●牛に引かれて善光寺参り	74
		前平 武男	
カラ	―	●開山三十三回忌・第二十四回育英会辞令交付式	85
特	集	●育英会辞令交付	89
		●善光寺霊園ニュース	96
		●坐禅会・写経会のお知らせ	110
		●ニュース・アラカルト	116
留学僧募集のお知らせ	128	読者のたより	130
		編集後記	138

題字・イラスト 伊藤三喜庵

巻頭言

善光寺住職 黒田博志

仏教を通して「仏法興隆、世界の安心、平和、幸福」に貢献したいという旗印のもと、成寿山善光寺は開創四十二周年、又、開創十五年を記念して設立した『善光寺海外留学僧派遣育英会』も寺檀一体の結晶として二十七年目を迎えるに至りました。これもひとえに大恩教主本師釈迦牟尼佛、高祖承陽大師、太祖常濟大師、歴代祖師方の尊い御徳の至らしむるところ、そして、善光寺を護り仏道を行じてこられた数多くのご縁の方々のおかげでございます。師父は三つの理念を頭上に

戴き一徹微動だに揺るぎもなく今日に至っております。

一、祖師を通して釈尊に還る

二、仏道を通して世界の安心、平和、幸福に寄与する

三、利他の思想で発願利生

師父遷化より六年、私もこの三つの理念を頭上に法燈を継承して参りました。

いかんせん師父の突然の遷化は私をして久しく戸惑いの中にあり、唯唯遠きを追いつながら、師父の行いを観、志を追懐しながら日常の諸事に一所懸命尽くすのみでございます。

精進の覚悟気概はありまして未熟は否めません。仕方ありません。時間をかけ少しずつ積み上げて参ります。師父の口癖「すべて仏さまにお任せ下さい」

この言葉を心に仏さまと会話する毎日です。

山高月上遅（山高うして 月の上ること遅し）

一歩ずつ、一歩ずつ仏さまに導かれ、多くのご縁の方々^{（ママ）}に護られ、支えられて今日の私があります。

奇しくも三十八年前の同月同日に師父も晋山式を勤めております。仏さまに導かれ、多くの御寺院さまに助けられ、檀信徒の皆さまに護られながら晋山結制も無事円成することができました。まことにありがとうございます。

私は、まだまだ若輩でございます。今後ともご指導ご鞭撻の程何卒よろしくお願ひ申し上げます。